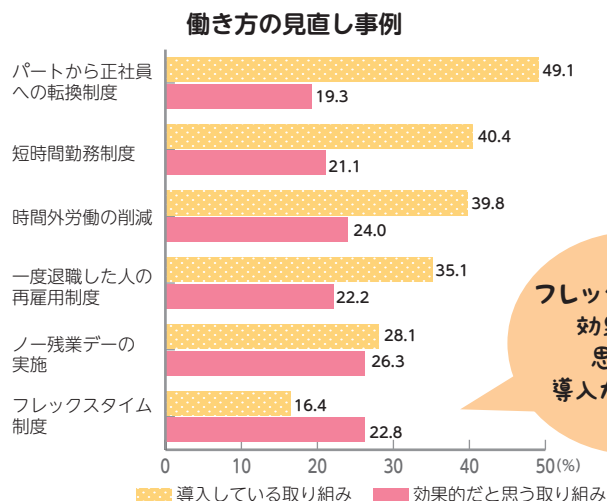


さまざまな制度や取り組みを

導入する

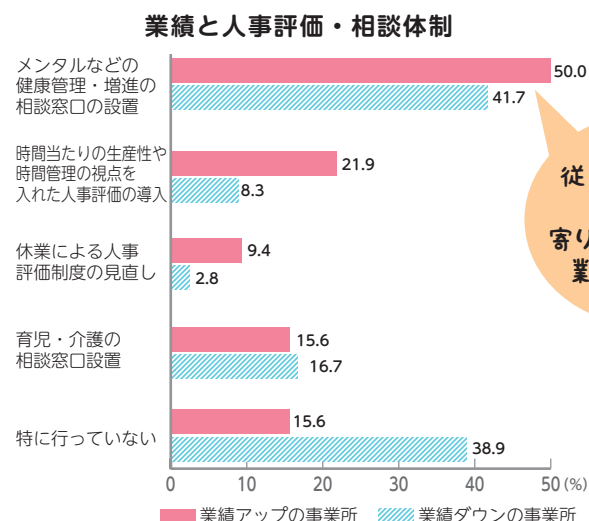
働き方を見直すために導入されていることは、「パートから正社員への転換制度 (49.1%)」、「短時間勤務制度 (40.4%)」、「時間外労働の削減 (39.8%)」の順で多くっており、さまざまな取り組みが進んでいます。しかし、効果的だと思われる取り組みは、「ノー残業デーの実施 (26.3%)」、「時間外労働の削減 (24.0%)」、「フレックスタイム※制度 (22.8%)」が多くなっており、特にフレックスタイム制度は効果があると思われているのに、導入が進んでいません。



フレックスタイムは効果的だと思うのに導入が少ない。

従業員に寄り添った体制を整える

業績アップと答えた事業所は「メンタルなどの健康管理・増進の相談窓口の設置 (50.0%)」、「時間当たりの生産性や時間管理の視点を入れた人事評価の導入 (21.9%)」などをしていました。一方、業績ダウンと答えた事業所は、「特に行っていない (38.9%)」となっており、従業員の健康や心、生活に寄り添ったケアが事業所の業績の向上に寄与していると考えられます。



従業員の健康や心、生活に寄り添ったケアが業績アップに!

ワーク・ライフ・バランスのメリットとは…

事業所

- 従業員の定着・優秀な人材の確保
- 従業員の満足度や仕事への意欲向上
- 生産性の向上

従業員

- 短時間で効率よく働くことで時間管理能力がアップ
- 心身の健康の保持
- 仕事以外の時間の充実

事業所 win-win 従業員の関係性を築けます

企業の価値を決めるのは「人」
従業員の満足度が顧客満足度につながります

明日への投資につながります!